

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

花めぐり

サクラソウ

2月に入り日差しも少しずつ強くなり、近くの遊歩道や公園の花壇でサクラソウを目にするようになりました。日本では北海道南部から本州、九州まで広く分布し、埼玉県と大阪府の花に指定されています。

サクラソウは春に芽を出し、高さ15～30cmの花茎を直立させて、5～10個の花をつけます。花は直径2～3cmほど、花弁は5枚に分かれていて、よく見るとその一枚一枚がハート型をしています。色は淡紅色が多く、まれに白色や紫色もあり、日本の気候風土に合った、美しく清楚で可憐な花です。



花言葉は「青春のはじまりと悲しみ」「早熟と悲哀」など。この花が咲く時期が早春で、咲く期間が極めて短いことからきているようです。

(広報委員 谷内真紀子)

品川区青少年対策地区委員会連合会主催による「第15回品川区中学生の主張大会」が昨年12月13日(土)、きゅりあん小ホールで開催されました。



中学生の主張大会 15校が参加して 堂々と自分の意見を発表

この大会は中学生の自立と社会性を育むことを目指しています。区内にある15校の中学校から各1名が代表として選ばれ、地域や学校での出来事、日常生活で感じたことなどを自分の意見として述べるものです。緊張に負けず、堂々と主張する中学生の姿は、とても凛々しく立派でした。



太田 晴野さん



秋津 舞さん

街角ウォッチング

荏原一中生徒が味噌作りに挑戦

「和食」が、ユネスコの食に関する無形文化遺産に登録されました。「フランス料理」「地中海料理」「メキシコ料理」「トルコ料理」に続いて5件目です。

今年、荏原第一中学校は、東京都教育委員会が推進している「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として、体力向上や国際理解教育を推進しています。

体力向上では『立腰』や『体幹トレーニング』を進め、区内でも東京都の平均を超える数少ない中学校です。大会でも好成績を収めています。

国際理解教育の推進では、実用英語検定の合格でも好成績を収めています。

伝統・文化の継承では、「日本文化部」の『華道』『紋切り』、『ハンドメイド部』が今年度『味噌作り』を始めました。「和食」の調味料の一つである「味噌」は、仕込みから完成まで1年以上の時間がかかります。荏原3丁目在住の石井さんのご指導の下で、昨年12月に仕込みをし、熟成に向け寝かせています。



美味しい味噌ができますように

(荏原第一中学校長 井上好嗣)

品川富士で身近に参拝 2月23日は「富士山の日」

2月23日は日本の山、「富士山の日」です。日付を「2:ふ、2:じ、3:さん」と語呂合わせで読み、静岡県や山梨県では条例を制定しています。

富士山の信仰の歴史は古く、鎌倉時代から室町時代にかけて富士登山が盛んになり、江戸時代に長谷川角行という修験者によって富士講が結成されました。さらに、富士山をもっと身近に参拝できるように、各所に富士塚という人工の山が造られました。

現在、東京都内には約46基の富士塚が存在しています。品川区に現存する富士塚は品川神社(北品川3・7・15)の境内にある、品川富士のみです。品川富士の高さは15メートルと都内のものでは最大です。

品川神社富士塚は、明治2年(1869)に、北品川の丸嘉講(正式には品川丸嘉講社)の約300人によって造られ、その後大正11年(1922)に、第一京浜国道の建設のため、西に数十メートル



品川富士の登山道の入口

丸嘉講による山開き行事が行われます。この日、丸嘉講の講員は塚のふもとの浅間神社に行衣という白装束で集まり、富士塚に登山して遥拝を行います。

実際に富士塚に行ってみました。リズミカルに石段を登ると、あっという間に六合目。七合目から頂上までは、登山道が狭くなり、石段も急になります。頂上からの眺めは良く、レインボーブリッジが見えました。

平成25年(2013)に世界文化遺産にも登録され、見る場所や季節、時間によって豊かに表情を変える富士山。ちよつと足を延ばして、品川での富士登山を楽しんでみるのはいかがでしょうか。

(事務局)

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、3月23日(月)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を使用しています